

令和6年度 第3回 学校運営協議会 議事録

○日 時 令和7年2月13日(木)
 ○場 所 下落合小学校 会議室
 ○出席者 12名(館岡委員欠席)
 ○司 会 教頭

10:28～ 1:開会

- ・配布物確認:・次第と裏面に座席表・綴じてある資料・生徒指導に係る取組について
- ・「令和6年度学校運営協議会委員アンケート調査」御協力をお願い
- ・令和6年度学校自己評価システムシート・その記入用紙
- ・チャレンジスクールについて

10:31～ 2:校長あいさつ

10:35～ 3:委員長あいさつ

10:36～ 4:熟 議(司会:小山委員長)

(1) 第2回学校運営協議会の熟議について	教頭	第2回学校運営協議会の議事録の説明と熟議の報告 ・第2回に関して質問や意見はなし	10:37
(2) 生徒指導に係る取組について	生徒指導主任 米沢谷	別紙の資料にいじめの認知件数と解消件数、生徒指導に係る取組を提示 まず、いじめとなる事例について、教職員研修のときに用いたパワーポイントを活用し、いじめの認知件数について説明した。 1:心と生活のアンケートや簡易アンケートを実施 2:生徒指導部会の開催 3:いじめ撲滅強化月間の取組 ① スローガンの設定 ② 校長講話 ③ 学校だより6月号にいじめ防止について掲載 ④ アンケート実施 4:児童会の活動 ①あいさつ運動 ②さいたま市こども会議に参加 ③感謝を伝える取組	10:40
	池田校長	いじめについての定義を理解できて良かった。 いじめ防止対策推進法におけるいじめの定義について、例を挙げながら、被害を受けた児童の視点で認知することの重要性を説明した。	
(3) 学校評価アンケート結果について	石井校長	綴り資料P8～P10の表の見方を説明した。 児童・保護者・教職員のアンケート結果の説明 表の数字を見ながら、令和5年度より良くなった点・下がった点をもとに考察したことを説明。 <児童アンケート> ○No12:あいさつが良くなった。 ▲No8:困ったことがあったときに大人に相談ができないことは検討したい。	10:50

(4)「令和6年度学校自己評価システムシート」について	校長	<保護者アンケート> ○No15：ICTの活用は、教員が授業でタブレットを利用していることを、理解していただいている。 ▲No9：児童が進んであいさつをしているかの項目が低かった。児童の回答は「よくできた」という結果だったため、児童と保護者で認識の差がでた。 ▲No11：教職員が相談に対応しているかの項目が低かったのは、児童の回答にも表れており、検討する必要がある。 <教職員アンケート> ○No2：計画に基づいた教育活動が向上したのは、良かった。 ○No6：交通安全指導も良くなった。 ▲No11：児童のよさを称賛し、伸ばす指導が低くなった。伸ばすよう努力していく。 児童・保護者・教職員の考えていることに開きがあることを考慮して、対処していく。 「令和6年度学校自己評価システムシート」から 1：児童の主体性を育み、個別最適な学びを実現する授業の実施 ・「学力向上カウンセリング」を実施し、全教職員が参加することで、授業改善に生かすことができた。 ・「学びの指標」の数値において、4項目全て数値を向上させることができた。 ・低・中・高学年の3ブロックに分かれて、研究を深め、全員が参観する授業研究会を実施し、授業力向上を図った。 ・次年度に向けて、『教師が教える授業』から『児童が学びを獲得する授業』への授業改善を進める。ICTを更に活用し「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に捉えた授業改善を進める。 2：安全・安心な学校に向けた教育環境整備及び教育相談・生徒指導体制の充実 ・「心と生活のアンケート」で心配な状況が見られた児童について、情報を共有するシートを作成し、組織的な対応の向上を図った。 ・縦割り活動や児童会による取組など、児童主体の取組が充実した。 ・Sola るーむを開室し、円滑に運用した。 ・施設の安全面については、破損の状況によっては修繕に至らない箇所もあったが、現状を確認し、着手することができた。 ・PTAの協力のもと、落ち葉清掃や「バラトントン」の植樹等を行うことができた。 ・次年度に向けて、毎週木曜日を簡単清掃としてロング昼休みを設定し、児童同士、児童と教職員との関りを充実させる。	11:06
------------------------------------	-----------	--	--------------

		3：コミュニティ・スクールによる学校と地域の連携・協働の推進、情報発信の充実 ・下落合小学校ブログを立ち上げ、児童の活動の様子を発信することができた。 ・「スクリレ」を導入したことで、迅速かつ確実に保護者へ手紙を配信することができた。 ・学校運営協議会の会議を3回中2回児童が参加し、児童の主体的な取組を充実させることができた。 ・次年度は、4月の土曜日授業公開や2学期中間の授業参観を実施し、積極的に公開していく。学校・家庭・地域が協働して取組活動を一層充実させていく。	
	教頭	綴り資料 P11～12に基づいて、学校運営協議会に係る取組について説明。 代表委員児童が、日頃よりお世話になっている地域の方へ向けて年賀状を書いたこと、ふれあいの会で5年生児童が防犯ボランティアに対して、お礼の言葉と合唱のプレゼントを行ったことなどを報告した。	11:23
	校長	4：教職員の指導力の向上と学校業務の改善 ・学習指導と生徒指導・教育相談・特別支援教育を一体と捉えた新たなテーマについて、研究を推進することができた。 ・講師を招聘した研修を4回実施した。 ・3ブロックによる研究授業を全教員が参観し、研究協議会も実施することで、「真の主体性」について全体で学び、指導力を向上させることができた。 ・学校業務において、Teams や Forms 等の ICT 機器を活用して、改善を図ることができた。 ・教職員の時間外在校等時間を平均で月45時間以内とすることができた。 ・担任外の教員も学年に入り、チーム担任制に取り組むことで、担任の負担を軽減させ、業務改善を図った。 ・次年度に向けて、「真の主体性」を育むための授業について、更なる研究を深めていく。チームで取り組む体制や ICT の活用をより一層推進し、業務改善に取り組んでいく。	11:25
・各委員に意見と評価をシートに記入時間	小山	学校自己評価システムシートの説明を踏まえ、意見や感想をシートに記入する説明をした。	11:40
・各委員より発表	小山	各委員からご意見やご要望等をお一人ずつ発表する時間を設ける。	11:53
	池田	・ともだちタイム（縦割り活動）への取組がよい。 ・学校運営協議会に児童が参加したのがよかった。	

	奥田	・評価は全部 A 評価。 ・教員に一日の時間の使い方が大変だとわかった。	
	渡邊	・授業参観で ICT を活用している場面が見られ、感心した。 ・3ブロックに分かれて研究がされているのがよい。 ・ブログやスクリレを立ち上げたことは、保護者にとってよいことだと思った。 ・音楽会のときに保護者のマナーが素晴らしかった。 ・子どもたちにとっても、担任外の教員とのかかわりも大切。	
	谷田部	・子どもたちの理解度が様々な集団の中で授業をすることは容易ではないと思うが、頑張っしてほしい。 ・いじめの認識が保護者に伝わっていない。保護者へ向けても発信していく必要がある。 ・ブログを楽しみに拝見している。子どもたちに発信させてもよいのではないか。 ・学校運営協議会に児童が参加するという取組がよかった。 ・担任外の先生にも見てもらえることで、多くの先生に見てもらえるため、有難いと感じている。 ・Teams の連絡帳は親として便利で有難いと感じる一方で、書く機会が減少しているのは気になる点。	
	高橋	・3つのブロックに分かれて授業研究を進める方法はよいやり方だと思った。 ・Sola る一むの話が理解できてよかった。 ・中庭が綺麗になりよかった。 ・学校の様子がわかると、保護者も学校への関心が高まると感じる。 ・担任外の教員が学年に入ることで、チームで取り組むことができ、担任の負担が軽減されるので、よい取組だと感じた。	
	岡田	・学力向上が難しいことに対して、協力したい。 ・いじめの認知件数が増えたことは、小さなことも見逃していないことなのでよいこと。 ・チーム担任制もよい取組だと思う。 ・ブログは、負担にならないようにしてほしい。	
	増渕	・すべての項目が 100 点満点だ。 ・地域住民が学校に参画するためにも、財政支援が必要だ。	
	小山	・学校は幅広い業務を行っており、更に働き方改革までできるのかと感じている。 ・モチベーションを高くもって、先生方にやってもらいたいと感じている。	

(5) 令和7年度学校運営について	校長	・カリキュラム・マネジメントの充実 ・児童に「真の主体性」を育む授業の充実 ・教育相談・生徒指導体制の充実 ・コミュニティ・スクールによる学校と地域連携・協働の推進 ・チーム担任制や ICT を活用した業務改善の推進	12:15
-------------------	----	--	-------

12:26～ 5: 諸連絡

(1)「令和6年度学校運営協議会委員アンケート調査」御協力をお願い
教頭よりアンケート調査を依頼した。

(2)令和6年度チャレンジスクールの活動報告
別紙参照の上、奥田委員から報告した。

12:30～ 6: 閉会

12:35～ 代表委員児童 参加

- ・第2回学校運営協議会にて、委員の皆さんからいただいた意見をもとに、児童会で話し合い、その話し合った内容を発表した。
- ・3つのグループに分かれて、委員の皆さんと給食を食べながら、委員の方の話を聞いたり、児童の小学校の思い出や中学生生活・将来の夢などを話し合ったり、会食の時間を設けた。